
沼津情報・ビジネス専門学校のディプロマポリシー (卒業認定・専門士授与の方針)

本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。
- 情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。
- 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。

高度 IT ビジネス科のディプロマポリシー (卒業認定・高度専門士授与の方針)

我が国では、2001 年から政策として「e-Japan 戦略」「u-Japan 政策」を実施し、「IT」から「ICT」(Information and Communication Technology : 「情報通信技術」) に技術シフトを進めている。さらに最近では、この ICT から派生した「IoT」(Internet of Things : 「モノのインターネット」)、「AI」の活用に IT 業界はシフトしつつある。「IoT」、「AI」にシフトしているという点は、単に Windows アプリや Web アプリ、スマートフォンアプリ、組み込みアプリ、ネットワーク、サーバなどのインフラを構築できる技術だけでなく、それらを統合し総合的なシステムを提案できるスキルや、分析したデータを有効活用できる経営者の育成が急務であることを物語っていると言える。

高度 IT ビジネス科では、IT 技術の核となる技術を習得した後、それらの技術を統合し一つのシステムとして提案・活用できる IT 技術者や、ビジネスに強い IT 技術者に必要なスキルを習得することを卒業の条件としている。

- プログラム作成能力

Java 言語や Visual Basic によるプログラムの作成を通して、基本技術を養い、オブジェクト指向型プログラムを用いた実践的なシステム構築を行うことができる。

- データベース設計

データベースの基本操作を行う SQL 言語を中心に学習し、データの分析から設計、構築、またプログラム言語を用いた SQL の活用を行うことができる。

- ネットワーク構築運用

情報通信機器のトップメーカーであるシスコシステムズ社の機器を利用した構築を経験することで、その学習や実習を通じて高度かつ最先端技術を習得し、小規模 LAN の構築ができる。

●情報リテラシー

PC やモバイル機器、ノート PC、サーバといったハード面、オペレーティングシステムといったソフト面を中心に即戦力技術者として活躍するための高度な IT ビジネススキルを持っている。

●情報セキュリティ

ソフト面からハード面の技術的視点、運用保守の観点、利用者の観点など様々な観点でセキュリティについて検討することができる。

●プロジェクト遂行能力

各学年の年度末において企業と連携した課題制作を通して、企画、設計、構築、運用保守の一連の流れを理解し、主体的に動くことができる。
